



# コテンパンに負ける経験

危うい所でした。

本当に、危うい所でした。

昨日の帰りの会。

現在の仕組みとしては、そうじを終えて、帰りの準備をした子から、「百人一首」をすることになっています。

その中で、最近「先生、一試合お願いします！」と対戦を申し込んでくる子が殺到しています。

約一か月前に練習を始めた頃は、まだ誰も百人一首の歌を覚えていませんでした。

ですから、札を読むスピードも、初心者に合わせて非常にゆっくり読みました。

それでも、耳馴染みのない文語調の歌を聞いて札を取ることに、多くの子が苦戦している様子でした。

その頃にも私は何人かの子たちから希望されて対戦したことがありますが、どの子も圧倒的な大差で敗れていきました。

こういう時、私は手加減を一切しません。

文字通りコテンパン状態です。

ほとんど札をとれずに大差で敗れていく友達の様子を見て、しばらく対戦申し込みは誰からも来なくなりました。

「全然勝てない」と子どもたちは悟ったのでしょ

う。大人気ないと思う方もあるかもしれませんが、こうした「くやし

さ」や「完膚なきまでに敗れる」経験は、すごく大切だと思うのです。

少し前の記事になりますが、本田選手が子どもたちにサッカー教室を開いた時のことが話題になったことがあります。



“大人げない”本田が、子どもたちの成長に一役買った。日本代表MF本田圭佑（26 = C S K Aモスクワ）が16日、千葉・成田市内で自身のサッカー教室を開催。小雨の中、参加した小学4～6年生の子どもたちとミニゲームなどで対戦。ドリブルでぶち抜き次々とシュートも決め「大人が相手でも今日はみんな悔しい思いをしたと思う。ただ今日負けて終わりではない。無限の可能性を信じて進んでほしい」と、成長へのヒントを身をもって示した。

手加減をして花を持たせることも時には大切ですが、同じように一切の手加減を無くして悔しさを味わわせてあげることもやはり大切な経験だと思うのです。

圧倒的な敗北を喫した4月からおよそ1か月が経過し、子どもたちの様子は大きく変わりました。

札をとるスピードは激変しました。

試合に臨む所作も美くなりました。

家に帰ってから練習し始めている子もいます。

何より、いったんはピタリと無くなっていた対戦申し込みが、今再び殺到するようになったことが、子どもたちの大きな変化を物語っています。

子供たちは、倒しても倒しても、向かってきます。

対戦成績は、もちろん今の所私の全勝です。

休み時間もふくめて全部で100試合くらいやりましたが、結果は全て子どもたちの負けです。

1度も勝たせたことはありません。

それでも、練習を重ねてきた中で自分の内に芽生えた自信や、今度こそ勝ってみせるといふ挑戦心が、次なるチャレンジへと駆り立てるのでしょう。

そうして訪れた昨日の帰りの会。

いつもと同じように「先生、やりましょう！」と対戦を申し込んでくる子たちがいたので、順番に試合をしていきました。

どの子も、見違えるほど強くなっています。

余裕たっぷりで笑顔で勝利できていた時代は、すでに終わりました。

全精力を注いでも勝てるか負けるかどうか分からないところまで、すでに子どもたちのレベルは到達してきています。

だから、危うかったのです。

昨日の帰りの会で行った3試合。

私はいつものように全勝を収めましたが、どの試合も僅差での勝利でした。

もちろん、手加減など微塵もしていません。

全力を尽くした上での、僅差での勝利でした。

本当に、危うい所でした。

遅かれ早かれ、子どもたちは私を超えていくでしょう。

その未来は、もうすぐそこまで来ています。

私は、そのことが本当に嬉しいのです。

コテンパンに敗れて、それでも日々コツコツ練習を続けて、再び挑戦をして尚敗れて、まだそれでも向かってくるそのチャレンジングな姿勢が何より嬉しいのです。

以前、百人一首のことを紹介した1か月前の [Venture fourth17号](#)に、私は次のように書きました。

どんなことでもそうですが、長くやっているといろいろな経験をします。

私は、高校からバイオリンを始めて現在に至るまで、20年ほど楽器を演奏していますが、それを通して学んだことは測り知れません。

練習や努力の大切さ。緊張に打ち克つ方法。

仲間と気持ちを揃えて演奏する事の楽しさ。

集団活動のルール。

聞いてもらう人の笑顔が見られた時の喜び。

いい演奏が出来た時の感動。

失敗してしまった時の悔しさ。

それは、その時に真剣にやったからこそ学べる事が出来ました。

そのおかげで、今の自分があるとも思っています。

実は今でも、その時の仲間と演奏を続けています。(休日には福祉施設や病院等で演奏することがあります。最近は講演とセットで演奏を依頼されることも増えてきました。つい先日も、教会で 1 時間半講演をした後に数曲奏でてきた所です。)

真剣に取り組むことの尊さは、教師になってからも伝えたいとの思いがありました。

ですが、全ての子にバイオリンを演奏させるわけにはいきませんし、時折熱く語って聞かせる程度では、中々子どもたちに残っていきません。

しかし、こうしたことは学習とは別次元で非常に大切なことです。

何とか日々の学級活動の中で伝えていく術がないかと考えていた時、百人一首に出会いました。

百人一首には、千年の歴史があります。

実際にかかるたとして遊ばれるようになったのは江戸時代からだと言われていますが、それでも四百年の歴史があります。

その百人一首を短時間でもできるように二十首ずつに分けて五色に色分けしたのが、五色百人一首です。

これをクラスで始めて17年になります。

その間、やり方も工夫や改善を加えて進化させてきました。

百人一首を学ぶことによって、様々身に付く力があります。

1. 記憶力がよくなる。
2. ルールに対する正しい態度を学べる。(勝ち負けをきちんと受け入れられるようになります)
3. 古い日本語を学べる。(古典が好きになります。)
4. 反射神経がよくなる。(すべてのスポーツに必要な「視神経」が特に鍛えられます。)

そしてこれ以上にぜひとも伝えたいのは、先にも述べたように「真剣に取り組むことの尊さ」です。

一所懸命物事に打ち込む素晴らしさです。

過去に受け持った学級でも、百人一首を通じて様々なドラマがありました。

陰で努力を積んで、驚くほど力を伸ばす子がいました。

試合に負けて、涙する子もたくさんいました。

公式の大会に出て、メダルを獲得した子も大勢います。(過去、渡辺学級から奈良県チャンピオンや札幌チャンピオンが誕生し、メダリストの数は通算30人を超えています)

千年前から伝わる歌を一つ一つ学び、真剣に物事に取り組む素晴らしさを体感してほしいと願っています。

今から7年前。

新たに赴任した札幌の学校は、全校約800人を超える大きな学校でした。

当時は、まだ誰も百人一首をしたことがありませんでした。

そこから、私はクラスで百人一首を始めました。

今の4-1と同じように子どもたちはどんどん強くなっていきました。

強くなっていく中で、百人一首以外のこともどんどん体得し、大きく成長していく子どもたちの姿が見られるようになりました。

自宅で札を買って練習し始める子たちも出てきて、熱量は次第に他のクラスへも伝播し始めます。

次第に、他のクラスや学年の先生方の中にも、自費で百人一首の札を買いそろえる方々が出てきました。

一クラス分をそろえるとなると、およそ3万円ほどします。

それでも、その先生方はお構いなしでした。

火のついた子どもたちを見て「教育的効果を確認したんです」と話していました。(先生たちって、こういう不思議なところがあります)

そのうち、学校の中でクラス対抗戦や学年別対抗戦などが企画されるようになります。

そして、その札幌の学校で百人一首を始めてから3年後。

ついに、学校の中から札幌チャンピオンが誕生しました。

それだけでなく、銀メダルも銅メダルも、勤務校の子たちが総ナメにしたのです。

その時の中のある一試合が、今も心に残っています。

準決勝で当たったある二人の男の子。

どちらも渡辺学級の子供たちでした。

その二人は、普段から大の仲良し。

休み時間も放課後も毎日のように一緒にいて遊んでいる相棒的な存在でもありました。

その二人が、奇しくも準決勝で激突することになったのです。

その試合が始まる直前。

試合開始の礼をした後に、二人はガッチリと握手をしました。

視線を合わせた瞬間、喋りはしませんでした。二人の表情から見えない会話を交わしている様子が伝わってきました。

「どっちが勝ってもうらみっこなし」「思い切りやろうな」

そんなやり取りが聞こえてくるようでした。

白熱した試合はまさに一進一退でした。

最後までどちらが勝つか分からない激戦でした。

試合の結果は、9対8。

わずか一枚差で勝負が決まりました。

試合が終わった瞬間、敗れた子はその場に泣き崩れました。

そして、その涙を堪えて、再び最後に二人でガッチリと握手、そのまま肩をたたき合いながら互いの健闘を讃えていました。

勝利を収めた子も一緒に泣いていました。

その二人の姿に、会場から大きな拍手が沸き起こりました。

大会を運営されていた方々も、周りで応援していた保護者の方々も涙していました。

たった一つの百人一首という教材から、こんなドラマが実際に起きるようになるのです。

4-1の百人一首のドラマもまだまだ始まったばかり。

尚、今年は3年ぶりに百人一首の愛知県大会が開催されるそうです。

**☆↓読者ページはこちらから↓☆ご意見ご感想など気軽にお寄せください**

<https://docs.google.com/forms/d/1qqf4cPLcjpcWaimWdu-6IFM73JahODYK4ROldg7jLxM/edit>

